授業科目名	海商法	大学名	白鷗大学
科目区分		開講時期	前期（４月１１日～８月５日）
学部・学科等	法学部法律学科	曜日	火曜日
必修・選択区分		時限（時間）	４時限（１４時４５分～１６時１５分）
標準対象年次	３学年以上	授業形態	講義
単位数	２単位	授業会場	東キャンパス
担当教員名	白石　智則		
電話番号（代表者名）	0285-22-1111	e-mail アドレス	gakumu@ad.hakuoh.ac.jp
オフィスアワー	特に設けず，e-mail や電話で予約を取ってから，質問や相談に応じる。		
授業の概要	＜授業の目標及びねらい＞ この講義では、主として商法第３編「海商」および国際海上物品運送法から構成される、いわゆる「海商法」を学びます。 多くの資源を海外から輸入している日本において、国際運送のほとんどを占める海上運送が重要なことはいまさらいうまでもありません。本講では、この海上運送に関する法制度を中心として、船舶所有権、船舶金融、海上売買、海上損害など、海上企業の組織と活動に関する法制度を広く取り上げます。あまりなじみのない分野かもしれませんが、「まだ知らぬ海を目指して」いる多くの白鷗生の受講を期待します。 海上運送に関する基本的な法制度を理解することを目標とします。 ＜前提とする知識・経験＞ 私法の基礎である民法（とくに「民法Ⅰ（総則）」、「民法Ⅱ（物権）」、「民法Ⅲ（債権総論）」、「民法Ⅳ（債権各論）」）は前提科目です。できる限り事前に履修してください。また、商法科目全体の基礎である「商法総論」、運送契約を扱う「商取引法」、有価証券制度の基本法である「手形小切手法」、保険契約を扱う「保険法」は、とくに重要な関連科目です。まだ履修していない者は、あわせて履修することをお勧めします。 ＜授業内容と具体的な進め方＞ 講義ではパワーポイントを使用します。レジュメを配布し、このレジュメに従って講義を行います。また、理解度をチェックするため、適宜小テストを行います。 ＜授業計画＞ 詳細は Web シラバスを確認してください。 ＜教科書・参考書・教材と入手方法＞ 箱井崇史『基本講義 現代海商法』（成文堂、2014 年出版予定、価格未定）を教科書として使用します。図表・写真等の豊富な教科書で、講義中何度も参照することになりますので、受講者は必ず購入してください。また、最新版の六法を必ず購入し、講義の際に持参してください。六法は「国際海上物品運送法」が掲載されていれば何でも構いません。『ポケット六法』（有斐閣）、『デイリー六法』（三省堂）などの小型六法で結構です。 ＜成績評価法＞ ①具体的な評価方法 　定期試験により評価します。試験では、基本的な知識を確認する選択式問題と、論述式問題を出題する予定です。成績評価の際に出席状況を加味することはありませんが、全講義の３分の２以上出席していない者は定期試験を受けられないので注意してください（白鷗大学試験規則２条）。 　また、小テストの点数は、定期試験で合格点（60 点）を取れなかった学生についてのみ、定期試験の点数に加算します。 ②評価方法の比率 　定期試験：１００％ ＜教員からのメッセージ＞		